

再開発準備組合が設立!

～藤枝駅前一丁目9街区再開発準備組合設立総会を開催～

要約すると

- 駅前一丁目9街区の再開発事業に向け本格的な推進組織として準備組合が設立
- 準備組規約や令和2年度事業計画(案)、役員を選任等が承認
- 令和3年度中の都市計画決定、令和7年度の竣工を目指す

7月3日、JR藤枝駅北口の駅前一丁目9街区の市街地再開発事業に向け、地元権利者でつくる「藤枝駅前一丁目9街区再開発準備組合」の設立総会が日之出町会館(駅前一丁目)にて、開催されました。

同街区では、昨年4月に「藤枝駅前一丁目9街区まちづくり研究会」が発足し、住環境の改善や防災上の課題解決などまちづくりの方向性を研究してきましたが、研究会を発展的に解散し、準備組合を設立することで本格的な推進組織として再開発の早期事業化を目指します。設立総会では、準備組規約や令和2年度事業計画(案)、役員を選任等が承認され、令和2年度は昨年度作成した基本計画の精査や都市計画決定に向けた権利者の合意形成を推進していき、令和3年度中の都市計画決定、令和7年度の竣工を目標としています。

当街区は、本市初の都市再開発法に基づく市街地再開発事業として平成30年に完成した「フジエダミキネ」(8街区)の北側のエリアで、地区面積は約0.3haです。

本市としては、再開発を核としたまちづくりの指針である「藤枝駅前地区市街地総合再生基本計画(計画期間:R1～R10年度)」に当街区を先導的拠点整備地区として位置付け、昨年度から基本計画作成と地元活動支援を行っております。駅前地区再開発コンセプトである「持続可能で魅力あふれる徒歩圏暮らし」を目指し、早期に当街区の事業が実現するよう今後も積極的に支援し、街なか居住を促進してまいります。



再開発準備組合設立総会の様子